



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



例会 QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2025年 4月会報 第436号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) A Shanavaskhan (A・シャナヴァスカーン) (インド)

主 題 “Together for a better World” 「より良い世界の為に、共に」

スローガン “Arise and Shine” 「立ち上がろ、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長(AP) Joan Wong(ジョウン・ウォン)(香港)

主 題 “Make a Great Impact “ 「大きなインパクトを起こそう」

スローガン “Be Bold and Serve by Faith “ 「大胆に、信念をもって奉仕しよう」

西日本区理事(RD) 鶴丹谷 剛 (神戸)

主 題 つなげよう地域と世界、YMCA と共に

スローガン 楽しもうフェロウシップをポジティブに

六甲部長 小野勅紘 (西宮)

主 題 一人は万人のために、万人は一人の為に

スローガン Y (YMCA) ・ Y (ユース) ・ W (ウィン) ・ W (ウィン) の関係で互いに支援しましょう!

宝塚クラブ会長 長尾 亘

主 題 楽しい例会があって、YMCA・地域活動を大切に!

西日本区4月強調テーマ :RBM(ロールバック マラリア献金)
日本ではほぼ感染者がいないマラリア、最近ではワクチンに耐性をもつマラリア原虫も現れていると聞く。マラリア撃退のための献金をお願いします。 CS 事業主任 鳥居 翠

2025年 4月 例会

日 時 : 2025年4月 9日(水)18時30分

場 所 : 宝塚市西公民館ホール

会 費 : 1,500 円

ドライバー 多胡葉子 ・ 小林康男

開会点鐘 会長 長尾 亘

ワイズソング 全 員

聖書・祈祷 武田寿子

ゲスト・ビジター紹介 長尾 亘 会長

食事・懇親

卓話 「防災世界子ども会議」 岡本和子 氏

(防災世界子ども会議創設者、

同 2025 in Kobe 実行委員長)

各会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 長尾 亘 会長

ニコニコ献金

閉会点鐘 長尾 亘 会長

2024~2025 役員	会 長 長尾 亘 副会長 多胡葉子 福田宏子 書 記 若林成幸 会 計 小林康男 郡家 学 会計監査 石田由美子 風早寿郎 担当主事 橋本 唯 ネット連絡 小林貴美子 直前会長 石田由美子
4月 誕生日祝い	24 石原 美生子
3 月 実 績	会員在籍数(A) 17 名 例会出席総数(B) 21 名 (内Zoom 2 名) (内訳) 会員(C) 12 名 ネット・アソシエイト 3名(内Zoom 2名) ゲスト・ビジター 5 名 メイクアップ(内数D) 0 名 会員出席率 C+D/A 70.5 % 例会充足率 B/A 123.5%
	ここにこ 献金・ファンド実績 ニコニコ 1000 円 (累計 18,000 円) ファンド タカラムネ 2,250 (累計 33,850 円) 真菰茶 2,100 (累計 11,900 円) その他 13,100 (累計 31,600 円) 合 計 17,450 (累計 77,350 円)

今月の聖句

「こうして、イエスはエルサレムに着いて、神殿の境内に入り、辺りの様子を見て回った後、もはや夕方になったので、十二人を連れてベタニアへ出て行かれた。」

(マルコによる福音書 11 : 11)

随 想

3月5日(水)から始まった受難節(レント)の期間も、すでに後半に差しかかっています。イエス・キリストの「十字架」を見つめ、主が歩んだ苦難の道に思いを馳せる日々が続いています。

標記の聖書箇所は、イエス最後の一週間＝受難週の始まりを描き出す場面です。都エルサレムへと入ったイエスは、夕方になるとベタニアという村へ出て行きます。「悩む者の家」、「貧しき者の家」を意味するベタニアは、エルサレムに入ったイエス一行の宿泊地であったと考えられているようです。実際聖書には、エルサレムとベタニアとの間を往復するイエス一行の姿が伝えられているのです。

荘厳な神殿が立ちそびえ、煌びやかな光が集まる都に留まり続けるのではなく、イエスは毎日、わざわざ数キロの道のりを歩いて、痛みと悲しみを抱えた者たちが暮らすベタニアへと戻っていきました。ベタニアへと向かうその足取りの中に、イエスの眼差しと生き様とが凝縮されているように思えてなりません。

学生時代の終わりに、学生YMCAの仲間たちと共に、パレスチナ自治区を訪れた時のことを思い出します。そこは電灯もまばらな、静けさと闇の中にある埃っぽい町でした。一方、要塞のような分離壁と、何重にも敷かれた電流フェンスの向こう側には、イスラエル入植地の眩いばかりの光が輝いていました。

二つの町並みのあまりの違いに驚きながら、僕はその時、祭りで賑わうエルサレムを離れ、夕闇の中をベタニアへ向けて歩いていくイエスの姿を想像していました。きっとイエスなら、あの眩い光の中をではなく、土埃が舞う、うす暗いこの町並みを歩くのではないだろうか、と。

依然、ガザへの攻撃と虐殺が止むことはありません。涙と叫び声が溢れる現実の中で、イエスは今、どこに向かい、どのような道の上を歩いているだろうか。そのような問いを抱きつつ、受難節の日々を過ごしていきたいと思っています。

甲東教会 牧師 新堀真之

4月例会ゲスト講師のプロフィール

岡本和子氏

親和女子高等学校⇒神戸大学国際人間学部卒業⇒神戸大学医学部
衛生学教室助手(データサイエンスの実践・研究)

デジタル時代の国際教育プロデューサー

防災世界子ども会議(NDYS: Natural Disaster Youth Summit)創設者、
同 2025 in Kobe 実行委員長

NPO 法人グローバルプロジェクト推進機構(JEARN)理事、神戸大学
紫陽会評議員



3月第1例会報告

「宝塚里山こども村」プロジェクト

子育て・子育て支援を通じたコモンズ作り

3月例会は、子供「子育て」環境の研究と題して豊富な資料を基に、京都美術工芸大学建築学科特任教授の種村俊昭さんから、宝塚北部の西谷で展開している子供の視点立った『宝塚里山こども村』プロジェクトについてお話を伺った。ともにこのプロジェクトで地域報「にしたによいしょ」編集長で自然豊かな西谷地区に観光客を呼びこむきっかけになればいいと活動している仲清人氏はあいにく体調不良で欠席であったが、彼も子供が自立的に成長する場所として、親だけではなく地域、社会、環境など社会の見守りの大切さや、西谷の自然の豊かさが大切と里山の魅力を情報発信しているという。種村教授は「宝塚里山こども村」プロジェクト、「里ゾー夢」として研究テーマである「子そだち」の実践にかかわり、人と自然が出会い集い楽しむ環境づくりを応援している。種村教授の豊富な建築家としての経験から人と人、人と本、人とアート、また土や自然と出会い楽しむ居場所つくりのために、地域のオープンスペース、空き家スペースの活用など大人も子供たちが自立的に成長する場が必要だと提案されている。

現在様々な子供の心身の健康問題が顕著になってきていることから、新しい「遊び」を通じた次世代を担う子育て環境を作り上げたいと西谷の住民の協力を得ながら「子育て—子育て」「食育」環境に配慮した活動を展開されています。

(武田寿子)



神戸 YMCA 総主事とワイズ会長との懇談会

毎年3月に開催される現神戸YMCA総主事と六甲部7ワイズメンズクラブの現会長、次期会長との懇談会が今年は3月17日午後6時30分から神戸YMCA会館で開催された。六甲部各クラブから15人が出席。我クラブからは多胡のみ出席だった。始めに井上総主事から以下の内容が語られた。

- 1) 次年度の神戸YMCAの全体方針案
 - 2) 2025年度の神戸YMCAから、ワイズの献金等に関する要請。
 - 3) 協働活動に関する諸行事の日程・活動内容などの提示
- 2)、3)の詳細に関しては後日決まり次第お願いしていくことになるとの事で、例年通りの協力が要請された。

その後、井上総主事が10年間の働きを終え3月末で退任、4月からは小澤 昌甲氏が就任される旨報告があり、その就退任式に関連して、特に海外から迎えるパートナーYMCAのゲストのおもてなし会を前日(4/11夕刻)に六甲部ワイズが中心になって段取りと参加者を呼びかけを行ってほしい旨依頼があり、部として段取りを進めることを確認した。

その後各クラブの活動状況を報告、意見交換などが活発に行われて閉会となった。

今回の会議内容の詳細に関しては懇談会記録が送られてくるのでメンバーの方々にも共有していただくように後日メール発信をさせていただきます。

(多胡 葉子)

六甲部第2回評議会報告

2025年3月14日(土)14時から神戸YMCAチャペルにおいて六甲部第2回評議会が開催された。開会にあたり、小野部長による開会点鐘・ワイズソング斉唱に続き次期部長 柳敏晴ワイズの開会挨拶と祈禱、神戸YMCA 総主事 井上真二ワイズの挨拶と続いた。この日の出席者は44名・委任状提出者14名 計58名。これは部則第9条4項に定める六甲部構成員(直近の在籍者数115名)の1/3(39名)を満たし、評議会の成立が確認された。その後、中間報告として、六甲部長(小野ワイズ)・六甲部会計(山本ワイズ)、主査4名、クラブ会長7名から報告が行われ、若干の質疑応答の後、拍手を持って承認した。

次いで、次期部長 柳敏晴ワイズから次期(2025~26)役員(候補)の紹介があり拍手を持って承認したが、次々期部長の選任方法をめぐり部則との関連で問答があった。結局、部則の文言については次期において検討することとし、次々期部長は輪番制により学園都市クラブが推薦の杉本隆人ワイズとすることを承認した。

次期部長 : 柳 敏晴(神戸西)	EMC 主査: 北島伸三(神戸ポート)
次々期部長: 杉本隆人(学園都市)	交流主査: 石田由美子(宝塚)
Yサ主査 : 杉本隆人(学園都市)	広報委員長: 未定 (神戸)
CS 主査 : 福原吉孝(芦屋)	

その後、提出された議案1号~7号に関し提案趣旨・内容・提案理由などの説明の後、協議が行われ、この内、第5号議案:「神戸 YMCA 総主事の就退任式に出席の海外ゲスト(14名)の歓迎祝賀会費(総額91,000円)を六甲会会計から支出を認める」は動議「先の六甲部会の剰余金85,148円と不足分は予備費から支出」を採択し、第1・3号議案:部則の文言整理については次期部長のもとで検討する、とした。その他の議案は、不採択又は取り下げとなった。

評議会を終えて、部長報告によると当期は部役員会が一度も開催されないまま、最も重要な半期を過ぎたと記され、驚きと失望感を覚えた。部長の苦勞を思うと、役員各人の自覚と輩出クラブのサポート責任・部長のリーダーシップが気がかりであり、次期は大丈夫かと疑心暗鬼に陥ってしまう。この不安を払拭するのが懇親会で生み出されるワイズの一体感であろうか。懇親会に23名が参加して近くのレストランで行われた。

(若林成幸)



第26回宝塚 NGO 活動紹介展 『つなごう、つなげよう！平和に向けて！』

宝塚市立国際交流協会(TIFA)が毎年開催しているNGO展は今年は3月8日、9日の二日間開催された。8団体が参加。宝塚ワイズは最初から参加している。

各グループ、午前中はそれぞれの活動をパワーポイントで説明、宝塚ワイズも活動をパワーポイントにまとめて15分の時間をいただき、ホールで説明の時間が与えられた。

また、各グループはそれぞれに支援している国や地域のためにフリーマーケットを開催。

宝塚ワイズもファンドとしてのたかラムネ、真菰茶を並べ、その売上が国内外の災害被災地支援、国際協力募金などのために使われることを説明しながら来客の方々との楽しい交流の二日間を過ごした。

午後からはアトラクション！キッズダンス、コロンビアダンスなどが披露され賑やかな交流のひとつとき。

また、エスニック喫茶も開かれ、各国の珍しいお茶や真菰茶などで憩いのひと時が楽しめた。

(多胡 葉子)

3月9日、前日より開催の第26回宝塚NGO活動展に参加しました。本年はワイズメンクラブを含め8団体の活動発表、ブースでの事業紹介がなされて、「暁グリーンクラブ」～タイでの山地民支援のコーヒー作り～、「フィリピンAKAYプロジェクトをともし創る会」～幼稚園運営支援～、「TIFA民間大使」～出身国の出前教室～、「SocieTea」～日本茶の魅力海外へ発信～の各団体の発表を共有させて頂き、コロンビア出身のヒルマさんによるダンスが披露され大いに賑わいました。宝塚ワイズメンクラブは、来場者が立ち寄るスタンプラリーのスタートブースで、お越しの皆様、ワイズメンがYMC Aを支援する団体として国際的に活動展開していることを、ご理解頂く良い機会になりました。たかラムネ完売・真菰茶も大好評・初日にはほうれん草まで販売し盛況でした。

今度、在外外国人・民間大使の出前授業も例会に要請してみてもと思っています。

(金岡幸宏)



ロビーを飾るワイズのディスプレイ、3月は石原美生子さんによる「おひな様」が好評。



3月第2例会議事要旨

3月第2例会は3月19日(水)18時30分から西公民館において行われ、長尾会長、多胡、石田、福田、武田、小林、郡家、金岡、若林各ワイズの9名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. 例会のゲスト講師等について

4月例会…「防災世界子ども会議」岡本和子氏(防災世界子ども会議(NDYS:Natural Disaster Youth Summit)創設者・同2025 in Kobe 実行委員長)

5月例会…(仮題)「ウクライナ難民として神戸での歩み」Mr.Bogdan、バレエスクール主宰。
(第28回西日本区大会の懇親会でウクライナ民族バレエを演じていただく。)

6月例会…「評価と引継ぎ」

2. 諸行事・参加者

4/12(土)15時~16時30分 神戸聖ミカエル教会 神戸YMCA 総主事就・退任式

……多胡・武田・岡野・若林 4名、(4/11 ウェルカム夕食会 多胡・青柳・武田)

4/13(日)14時 芦屋ラポルテホール 島田 恒ワイズ出版記念講演……多胡

4/26(土)14時 神戸聖愛教会 神戸ポート主催 チャリティーコンサート…チケット20枚預り

5/17(土)14時 神戸YMCA CS事業「アートで考える共生社会」服部正 甲南大学教授

5/24(土)9時30分~12時 特定外来生物オオキンケイギク駆除作戦…多胡、金岡、若林

6/29(土) 宝塚中央公民館にて、ポップンリンガーズ創立20周年・金賞受賞記念コンサート

3. 第28回西日本区大会

参加予定…メン 12人、メネット 2人、アソシエイト 4人 計 18名。

六甲部ユニフォームが納品され、配布を始めた。売価2000円、代金は小林・在庫は若林。

4. プリテン 若林編集(案)により寄稿分担を協議

今月の聖書・随想…新堀牧師、六甲部評議会…若林、区大会実行委員会…石田

西中国部会…長尾、神戸YMCA 総主事懇談会…多胡、ポップン活動…長尾

投稿締切り:3/27、発行:3/30 予定

(若林成幸)

第28回西日本区大会 実行委員会報告

実行委員会は3月24日で第15回になりました。予定通りに進んでいるのか気がつかずにスルーしているところがあるのか大切な大きなポイントです。今後集中的に行う作業は、大会プログラム冊子の編集・印刷。当日朝8時から始まる朝のブリーフィングから20時終了の懇親会の各データーまで確認事項は多数です。

進行全体の管理者チームリーダーは若林ワイズ、メンバーは大野智恵ワイズ(神戸ポート)、金岡ワイズ、石田の4名です。登録受け受付デスク周辺、お弁当受け渡しデスク周辺等600名の動きが一度に起って混雑が発生しそうな時に宝塚クラブのメンバーはうまく整理に立ち回って頂きたいと思います。又、これ以外に物品販売として宝塚はいつもの真菰茶とたかラムネを販売します。このファンドブースにも何名かアテンドが必要です。

大会ホストとして私たちは様々な業務にあたりながら7年振りの神戸大会を可能な限り楽しみましょう。

(実行委員 石田由美子)

西中国部会報告

昨年行われる予定であった西中国部部会が3月22日(土)行われました。

今期最後の部会でありました。そして第28回西日本区大会アピールも最後となりました。西日本区大会実行委員として石田ワイズと一緒に行って来ました。開会セレモニーがプロレス、アントニオ猪木の大ファンである坂田王将部長の「元気ですかー!」で始まりました。そして講演は知的障害を持つ子供のお母さんが家族として生き方の紹介と支援活動のお話をされました。そして、懇親会、七つの船に分かれて乗りました。鶉飼のシーズンは終わっていました。桜もまだ咲いていません。しかし、船の中でお弁当、美味しいお酒を頂きました。最後に花火が打ち上がり楽しい、元気な西中国部部会が終わりました。

(長尾 亘)



YMCA ニュース

【コミュニケーション学院・神戸 YMCA】

日本語スピーチコンテスト

先月実施いたしました神戸 YMCA・コミュニケーション学院日本語スピーチ大会の開催にあたり、ご協賛を賜り、心より感謝申し上げます。お陰様で当日は両校合わせて約300名の学生と来賓の方々とながり、21名によるスピーチ大会を無事終えることができました。スピーチのどれも、これまでの努力してきた学習の成果を感じさせ、とても感動的なものでした。このスピーチコンテストは神戸 YMCA・コミュニケーション学院をお支え頂いている皆様のご支援によって続けられています。3月下旬に今年度の評価を行う会をもち、次年度に向けてより良いものを作っていく所存ですので、引き続きお支えいただきますようお願い申し上げます。



【維持会費納入のお願い】

いつも YMCA の諸活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。YMCA は年度が4月始まりとなっていますので、新年度の維持会費納入のお願いに関するお手紙をお渡しいたします。2025年度もご協力いただけますと幸いです。年会費は1口5,000円(維持会員)からとなっています。何卒ご協力よろしく申し上げます。